

するやうにありてこそ、初めて可能な事。

後、この労働組合の全線的統一の事業——下からの統一の事業——を遂行するに因り、何れも殊に、『自ら強力を階級の労働組合を結成すること』が必要である。それ以上に、我々の一切の階級の方針は、方針倒れに陥り、空論に終る。

此の意味に於て我々は、強力を階級の労働組合の結成を目標に、現在全国各地に散在してゐるすべての階級の労働組合の戦線統一を日程に上せねばならぬ。此の運動は、それが全国各地の戦線的労働者大衆の階級の熱意に立脚するものである以上、必らず、成功的に言及されるであらう。我々は、いま、此の戦線統一運動の具體的日程に際して、我々自身の態度を明らかにすると同時に、全口の同志的諸君の、この運動への積極的参加を切望するものがある。

一九三四年七月二十三日

全労 統一全国 会議

江東地方従業員組合 協議会

日本労働組合総評議会